



 e-Education

ANNUAL REPORT

2020

2020.04-2021.03



Mission

最高の教育を世界の果てまで
Best Education to Every Corner of the World

Vision

人生に誇りを、社会には思いやりを
A Life with Dignity, a Society with Compassion

代表ご挨拶

《ピンチをチャンスに》

これはコロナの影響で2020年の計画が総崩れになった時に、経営者として心に決めた誓いでしたが、e-Educationの仲間たちに伝えると「要するに、いつも通りですよね」と笑われました。

数年かけて準備を進めてきた大型のプロジェクトが相次いで中止・延期となったものの、二度融資を活用し、助成金の獲得数も最多に、更に過去一度も採択されなかった海外財団からも「コロナ禍にこそ、e-Educationのような活動は必要だ」と太鼓判を押ししてもらい、学校に通えなくなった農村部の高校生と、都市部で学費を稼ぐためのバイトを失った大学生をつなぐ新しいプロジェクト、オンライン家庭教師事業が始まりました。

結果、2020年は笑い溢れる1年となりました。コロナ禍でも応援し続けてくれたサポーター皆さんはもちろん、苦しい状況を笑って一緒に乗り越えてきた国内外の仲間たちには感謝しかありません。

まだまだコロナの厳しい状況は続いています。僕たちはこの状況をチャンスだと捉えています。「学校に行けない、先生に会えない」そんな苦しい状況だからこそ、僕たちが10年以上信じ続けてきた、テクノロジーを活用した遠隔教育が必要です。そして新しい教育のかたち、未来の当たり前を作るための千載一遇のチャンスであると思っており、このピンチな状況をみんなと笑って乗り越えていきます。

認定NPO法人e-Education
代表
三輪 開人



■コロナ禍に始まった新事業“オンライン家庭教師”

2020年は世界的なCOVID-19感染拡大に伴い、e-Educationが活動する国々でも学校が休校となり、これまでと同じ活動を行うことができなくなってしまいました。

そんな中私たちは2020年5月よりバングラデシュで、大学受験を控えながら学校にも塾にも通えない農村部の高校生と、学費のためのアルバイトができず中退危機にある大学生を救うため、「オンライン家庭教師事業」をスタートさせました。

オンライン家庭教師事業をスタートするにあたり、バングラデシュではスマートフォンの普及率が高いため、現地メンバーが専用のアプリを開発しました。高校生にはインターネットのパケット代の奨学金支援を行い、大学生には、高校生に学習支援を行うチューターとしてのアルバイト料を支払う形で、本事業は行なわれています。

■一年間で延べ850人以上の高校生・大学生を支援

私たちは1年間で延べ726人の高校生に支援を届け、126人の大学生にアルバイトの機会を提供することができました。

大学入試が延期され続け、ゴールの見えない中で、一人で勉強を続けていた高校生からは、「チューターのおかげで、勉強の理解度もモチベーションも上がった」という声を、またアルバイトができず生活費や学費に困窮していた大学生からは、「収入がゼロになってしまい、大学継続を諦めようとしていた。大学での学びを続けられること、そしていま誰かの役に立てていることが嬉しい」といった声をもらっています。

そして2021年の4月、ようやく1年遅れで一番最初の医学部の入学試験が始まり、e-Educationからも1人目の合格者が輩出されました。たくさんの支援の輪を広げることができたのは、e-Educationを応援してくださる皆さまの存在があったからこそです。



受益者の声



バングラデシュ北部に住む高校生
Kazi Himelさん

合格通知を受け取ったときはすごく気持ちが高まり、幸せでした。これまで家族からたくさんのサポートを受けてきたので、自分にできる形で何か恩返しをしたいと思っていました。家族は、合格の知らせを聞いて涙を流しながら喜んでくれました。

大学生チューターは常に自分をモチベートしてくれるし、学習理解をサポートしてくれました。自分にとって、とても重要な存在でした。他のすべての生徒にとっても、チューターは必要だと思います。

将来は腕のいい、そして誠実な医者になって、あらゆる人を救いたいです。特に、自分の出身地域のような、経済的な理由で医療サービスを十分に受けられない人々を救える医者になりたいです。

大学進学後は、e-Educationの現地パートナー団体でアルバイトをして、自分のような医学部や理系学部を目指す高校生もサポートしたいです。



Himelさんをサポートした大学生
Sabbir Sifatさん

Himelの合格通知を聞いたときは、本当に嬉しかったです。彼はとても熱心に勉強に取り組んでいて、バングラデシュの将来にとって最も大きな財産のひとつだと感じていました。彼の成功は自分にとっての成功のように嬉しく、彼のことをとても誇りに思うし、他の高校生が彼のストーリーを聞いたら間違いなくモチベートされると思います。

私自身は、大学進学後は生活費と学費を自ら稼ぎながら、家族への仕送りもしていたので、この事業がなかったら、父親の薬代も払えなかったです。また経済面だけではなく、未来ある高校生の役に立てることが嬉しいです。

今後は、この学習支援を継続しながら、ソーシャルワークのような開発セクターの仕事に就いて、バングラデシュの人たちのために働きたいです。

活動国紹介



バングラデシュ

バングラデシュでは深刻な教員不足の問題を抱え、特に高校生向けの高度な内容を教えらるる先生が農村部にいないことによる大きな教育の機会格差が生じています。優秀な先生が高い給料を求めて都心部の学校へと流出してしまい、その結果、農村部の貧しい子どもたちは良質な授業を受けることができず貧困の再生産へと繋がっています。

私たちは大学進学が難しい農村部の高校生たちに対して、2010年から、映像教材および現地の大学生チューターによるオンライン家庭教師サービスを提供することで、彼らの大学進学をサポートしています。10年連続でバングラデシュの最高学府であるダッカ大学への合格者を輩出しています。



フィリピン

活動地であるフィリピンのミンダナオ島は、長い紛争の歴史や自然災害の発生による貧困問題が深刻で、平日は家族のために働かなければならない勤労学生（Working Student）も多く、学校の中退を余儀なくされている子どもたちもいます。

私たちは週末を利用して中学校卒業を目指す「オープン・ハイスクール・プログラム（OHSP）」という制度を、地元の大学生をチューターとして迎えてサポートしています。チュータープログラムを受けた生徒のうち、97%が楽しく勉強できるようになった、と回答。学習に対するモチベーションの向上が成果として現れています。



ミャンマー

ミャンマーには「セーダン試験」と呼ばれる高校卒業試験があります。日本のセンター試験によく似ており、成績優秀者はそのまま大学に進学することもできます。しかし、合格率は全国の高校で70%程度。30%近い高校生は、高校を卒業することができず、大学に進学することもできません。特に少数民族が暮らす農村地域では、先生不足に加え言語の壁が学びの質に影響し、合格率が10%を下回る高校も少なくありません。

私たちは農村地域の生徒たちへのインタビューを重ね、苦手科目を明らかにし、試験突破に向けて、生徒向けの復習テストやワークショップ開催、映像教材や教員研修実施により先生の教育力向上に取り組んできました。



ネパール

ネパールの教育課題は、山岳部と都市部の学習環境の格差です。特に全国共通の中学修了試験の成績の差は顕著で、都市部の私立学校では毎年約90%の生徒が合格ラインに達するのに対して、山岳部の公立学校では約30%に留まっていました。さらに2015年4月25日には、ネパールを大地震が襲い、約100万人の生徒が学ぶ場所を失いました。

私たちは現地の教育局の紹介のもと、有名な私立・公立中学の先生と協力し、特に苦手科目に挙がりやすい理系科目の映像授業を完成させました。そして中学卒業が難しい山岳部のモデル校へ、授業の補助教材としての先生向け映像教材と、教材活用ガイドラインを提供しています。



LAMPは2018年からスタートした、《Learn(学ぶ)・Act(行動する)・Make(作る)》を組み合わせた実践型教育プログラムです。日本、ミャンマー、バングラデシュ3カ国の若者たちが集まり、3カ国を巡り、それぞれの国の社会課題や、それに取り組むリーダーとの交流を学びに変え、自分自身にできることを考える旅をします。自国のため、世界のために活躍できるリーダーを輩出するための国の枠を越えた実践型教育プログラムを行っています。

ご支援者さまの声



クラウド株式会社 代表取締役社長
白石 浩之 さま

法人サポーター

支援のきっかけは、2015年1月、e-Educationの現地視察ツアーに参加したことです。そのツアーでは、嬉々として授業に参加している子どもたちの姿や、高い自尊心と夢を持ち今の思いを語ってくれた子どもたちに出会ったことで、「私たちこそが彼らに学ぶべきである」という気づきを得ました。私がe-Educationを当社の支援する団体を選んだ理由はここに 있습니다。未来ある子どもたち、そして教育改革を通じて国を変えようとしている日本と現地の職員たちのひた向きの姿に僅かばかりでもエールを送り続けたい。そして、クラウドメンバーには学びの対象として彼らに向き合い、思いを共にしてほしいと考えています。いつの日か、e-Educationで支援した生徒さんがクラウドの社員に！なんて日が来れば最高ですね。



大橋 早由里さま

個人サポーター

サポーターになったきっかけは、団体の熱量。2019年活動報告会を通して職員・インターン・サポーターたちの熱量を感じ、一つの目標にみんなが向かっていることが感じられたからです。ニュースレターやSNSでの報告を見ていると、現地の様子を想像できるので、団体の成長も感じられて嬉しいです。現在、オンライン講座などを提供している日本の学習塾に勤めていますが、勉強だけでなく精神面のサポートの重要性を実感するなど、教育を実践している立場として、よりe-Educationの活動に共感しています。

<これまでにご支援・協働いただいている法人さま>



公益財団法人 日本国際協力財団



助成：国際交流基金アジアセンター
アジア・市民交流助成



みてね 基金

ご支援の方法

01 マンスリーサポーターになる

毎月1,000円のご寄付があれば、6人に「最高の授業」を届けることができます。教育機会に恵まれず、夢を諦めざるを得ない子どもたちの夢を応援する仲間になってください。



02 今回のご寄付をする

ご都合の良い時に、ご自由な金額でご寄付いただけます。法人としてのご寄付もこちらからお申し込みいただけます。



e-Educationへのご寄付は寄付控除の対象となります

活動計算書

経常収益	
受取寄付金	16,912,150円
受取助成金	28,504,599円
事業収益	29,068,021円
その他	265,735円
合計	74,750,505円

経常費用	
事業費	70,447,462円
人件費	30,330,659円
その他経費	40,116,803円
管理費	36,822,274円
人件費	8,713,825円
その他経費	28,108,449円
合計	107,269,736円

税引前当期正味財産増減額

-32,519,231円

法人税、住民税及び事業税

70,000円

当期正味財産増減額

-32,589,231円

前期繰越正味財産額

38,066,574円

次期繰越正味財産額

5,477,343円



認定NPO法人e-Education

〒101-0031

東京都千代田区東神田 1-2-8 赤塚ビル 2 階

E-Mail : info@eedu.jp HP : <https://eedu.jp>

